

令和6年度第1回碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部

日時 令和6年7月23日（火）

幹部会終了後

場所 市役所4階 庁議室

- 1 第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について(昨年度実績報告)
資料1

- 2 第3期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称・人口ビジョン含む)の方向性及び骨子案について 資料2・資料3

- 3 今後のスケジュール（案）について 資料4

令和6年度碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員一覧

No	所属団体名	所属団体役職名	氏名	備考
1	碧南商工会議所	専務理事	石川 央	
2	碧南市商店街連盟	会長	横山 茂	
3	あいち中央農業協同組合碧南地区	担当理事	原田 孝司	
4	大浜漁業協同組合	代表理事組合長	磯貝 政男	
5	中部地方整備局三の丸庁舎	企画課課長補佐	鈴木 眞也	
6	愛知県総務局総務部市町村課地域振興室	担当課長	請井 通孝	
7	碧南市	市長	小池 友妃子	
8	四日市大学		岩崎 恭典	
9	日本政策金融公庫岡崎支店	支店長	今成 潔	
10	碧南高浜金融協会	会長	古澤 剛	
11	刈谷公共職業安定所碧南出張所	出張所長	森 繁一	
12	連合愛知三河西地域協議会	幹事	稲生 貴弘	
13	株式会社キャッチネットワーク	専務執行役員	天野 栄	
14	碧南市子ども子育て会議	会長	鈴木 政枝	
15	碧南市女性団体連絡協議会	会長	神谷 葉子	
16	市民公募		高須 里美	

第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況

碧南市人口ビジョンにおける将来目標人口（2060年まで70,000人維持）の実現に向け、令和3年度から令和7年度までの基本目標や重要業績評価指標（KPI）について第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略で定めたが、PDCAサイクルにより施策・事業の効果を検証し、改善を図ることが重要とされているため、各年実績値を取りまとめ、進捗状況として報告する。
※令和6年3月31日現在進捗状況

基本目標1：しごとづくり

本市の特徴でもある製造業を中心とした産業集積を活かし、革新的な技術の創出や成長産業への展開を促進するとともに衣浦港を拠点とした物流機能を強化することで、生産性・利便性の向上を図る。

- ①中小企業支援
- 中小企業の経営、創業の事業承継を支援するために、職員による企業訪問や情報発信を強化するほか、商工会議所、金融機関、他の行政機関などと連携した支援体制を強化する。
- ②農水産業支援
- 営農・営漁環境の改善により、生産性の向上をめざすとともに、地元産物の知名度向上と地産地消を推進し、農水産業の維持・発展をめざす。
- ③産業基盤整備
- 道路・港湾の適切な維持管理と長寿命化により既存ストックの有効活用を図るとともに、新たな道路・港湾施設の整備を促進し、人・モノの交流を支える産業基盤の充実をめざす。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
就業者数(年間)	32,348人	33,082人	32,495人	32,493人			33,600人
設備投資額(年間)	45,029,311千円	46,593,454千円	48,130,915千円	45,801,106千円			46,000,000千円

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
企業訪問数(年間)	150社	77社	59社	152社			180社
償却資産新規取得補助対象の総取得価額(年間)	5,957,830千円	3,887,821千円	4,112,862千円	5,666,046千円			6,200,000千円
見本市出展に対する支援を行った企業が獲得した取引先件数(年間)	126件	100件	73件	111件			150件
漁業従事者数(漁協組合員数)	208名	197名	189名	185名			208名
認定農業者及び認定新規就農者数	172経営体	173経営体	170経営体	167経営体			172経営体
担い手等への農地集積率	57.8%	68.2%	68.1%	70.2%			80.0%

基本目標2:新しい人の流れづくり

本市の地域資源である歴史・文化・伝統や農業、漁業、醸造業などの地場産品に加え、特色のある公共施設などを全国に発信するシティプロモーションを推進し、関係人口や交流人口を増やすことで新たな人の流れをつくる。

- ①交流人口の増
- 魅力あるスポーツ、芸術・文化事業や観光事業を展開することで、碧南への交流人口を増やし、地域の活性化を図る。
- ②駅周辺の利便性向上
- 駅前広場等の駅周辺の整備を進めることでまちの賑わいを創出するとともに、公共交通の利便性を向上させるなど市民や来客の利便性の向上を図る。
- ③ふるさと応援寄附金の推進
- ふるさと応援寄附金事業をさらに推進することで碧南のファンを増やすとともに、寄附を契機に本市の情報発信や誘客に努める。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
観光入込客数(年間)	1,908,225人	2,436,997人	2,440,181人	2,393,298人			2,200,000人
ふるさと応援寄附金件数(年間)	114,730件	246,575件	221,546件	189,425件			140,000件

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
全国規模スポーツ大会の誘致・開催件数と動員人数(年間)	5件 3,150人	4件 800人	5件 1,371人	5件 1,484人			6件 3,950人
市内宿泊者数(年間)	80,000人	13,716人	8,834人	11,412人			90,000人
観光協会ホームページの閲覧回数(年間)	83,000回	466,829回	503,278回	481,739回			100,000回
くるくるバス利用者数(年間)	120,000人	89,869人	94,664人	105,444人			130,000人
ふれんどバス利用者数(年間)	300,000人	247,915人	255,499人	276,002人			320,000人
名鉄三河線利用者数(年間)	4,700,000人	3,950,186人	4,185,118人	4,435,856人			5,000,000人
駅前広場整備箇所数	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所			3箇所
ふるさと応援寄附金パートナー企業数	78事業者	109事業者	115事業者	107事業者			90事業者
ふるさと応援寄附金返礼品目数	400品目	840品目	915品目	843品目			600品目

基本目標3:結婚・出産・子育て環境づくり

若い世代や女性が輝ける機会の拡大を図るとともに、安心して子どもを産み、育てられる環境をつくることで、移住や定住を促す。

①結婚出産支援

市のイベントなどを通じて若者が集える場を提供することや妊婦・母子が交流できる場を提供することなど、人と人とが集い合い交流できる機会を創出する。

②仕事と家庭の両立支援

子育てにおいては、家族形態や働き方の多様化によるニーズを把握し、効果的な支援を実施し、低年齢児保育・学童保育の充実や待機児童ゼロを維持するとともに、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に努める。

③学校教育の充実

ICTを活用し、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向かうとともに、少人数指導授業や外国人児童生徒への日本語教育支援など、きめ細やかな指導による確かな学力定着と健全育成を図る。また、学校施設の老朽化対策を進め、安全・良好な教育環境を図る。

④快適な居住環境の整備

狭あい道路や密集市街地の解消を図るとともに、土地区画整理事業などによって良好な住宅地の供給を図る。また、交通安全対策を充実し、地域の安全性を高めるとともに、自然環境の保全、ゴミの減量化など快適で潤いのある環境づくりを進める。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
女性(20歳から50歳まで)の就業者率(年間)	82.5%	83.4%	83.7%	84.0%			85.0%
合計特殊出生率(年間)	1.53(H30)	1.44(R2)	1.38(R3)	1.40(R4)			1.65

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
赤ちゃんサロンの参加者数	172人 (令和2年度見込)	266人	297人	293人			288人
保育園待機児童数(年間)	0人	0人	0人	0人			0人
児童クラブ待機児童数(年間)	0人	0人	0人	0人			0人
日本語初期指導教室通室率	73.9%	93.0%	96.0%	91.0%			100%
あいち女性の活躍促進宣言実施事業所数	20事業所 (令和2年9月現在)	20事業所	21事業所	43事業所			50事業所
碧南市LINE公式アカウントにおける「友だち」の数	—	9,007人	13,570人	16,275人			5,000人

基本目標4:元気あふれる地域づくり

誰もが健康で安心して暮らせる地域づくりのため、日ごろからの地域住民の交流を促進する。また、高齢になっても元気で働き、生きる楽しみや生きがいを感じられるよう、若年からのスポーツや生涯学習活動を支援する。

①まちの担い手づくり

市民が主体となったまちづくりを推進するため、町内会を始めとするコミュニティ団体を支援するとともに、まちづくりの担い手育成を推進する。

②健康寿命の延伸

「人生100年時代」と言われる今日において、65歳を超えても働くことができるよう健康寿命の延伸をはかるため、生活習慣病の予防とライフステージに合わせた健康づくりを支援する。

③外国人との共生

本市特有の産業構造や人手不足により外国人の人口が年々増加していることから、多文化共生についての取り組みを着実に実施する。

1 数値目標

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
高齢者(65歳以上)の就業者率(年間)	33.4%	34.3%	33.7%	33.7%			36.0%
住みやすさ満足度(年間)	85.9%	85.5%	85.5%	82.9%			86%

2 重要業績評価指標(KPI)

項目	基準値	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績	R7年度実績	目標値(R7年度)
防災訓練の市民参加率	10%	7%	8%	7%			15%
防犯ボランティア活動参加団体数	26団体	26団体	24団体	26団体			35団体
公園等愛護会活動団体数	33団体	37団体	35団体	35団体			36団体
花いっぱい活動団体数	27団体	30団体	27団体	30団体			30団体
市民活動センターでのボランティア登録団体数(累計)	262団体	276団体	280団体	265団体			300団体
地域まちづくり組織の数(準備組織含む)	3団体	3団体	3団体	3団体			5団体
週1回以上スポーツを行っている市民の割合	37.5%	47.2%	50.6%	49.0%			60.0%
筋トレルーム60利用者数	12,000人	25,594人	27,517人	34,702人			34,000人

第3期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）の方向性について

0 はじめに

第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和3年度から令和7年度の5年間を計画期間としていますが、次の理由により、1年前倒しをして、今年度（令和6年度）に改訂を行うこととします。

改訂を前倒す理由

- ・ 一昨年（2022年12月）に国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に代えて「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定したこと
- ・ 国の方針を受けて愛知県も昨年（2023年10月）に「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略 2023-2027（愛知県人口問題対策プラン）」を策定したこと
- ・ コロナ禍を経て、当市の指標が大きくずれているものもあること
- ・ 昨年末（2023年12月）に国立社会保障人口問題研究所が地域別将来推計人口の新しい推計値を公表したこと

1 計画期間

第3期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第6次碧南市総合計画の計画期間に合わせ、令和7年度（2025年度）から令和12年度（2030年度）までの6年間を計画期間とします。

2 推進体制

(1) 碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部（庁内組織）及び策定部会の設置

市長をはじめ全幹部による「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置し、第3期総合戦略を含めて今後の行財政運営方針を総括的に協議します。

また、その下部組織として、関係課長で構成する部会を設置し、具体的な推進方法等を検討します。

(2) 碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の設置

「産・官・学・金・労・言」の専門的見地から意見を伺うとともに、子育てや女性の団体の代表、公募市民の方などから幅広い意見を反映するために設置しています。

（※）別添「02_1 令和6年度碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員一覧」を参照のこと。

3 人口ビジョンと総合戦略の統合について

第3期の総合戦略においては第2期の総合戦略と同様に、「人口ビジョン」と「総合戦略」を合わせて策定します。

「人口ビジョン」：まち・ひと・しごと創生に向けた効果的な施策を作成するため、人口の現状を分析したうえで、目指すべき将来の方向性を示すために、将来の人口を展望したもの

「総合戦略」：「人口ビジョン」の将来人口の目標を達成するために、安定した雇用の創出や結婚・出産・子育て施策等による人口減少の克服や少子高齢化への的確な対応を目指して策定するもの

4 総合戦略と総合計画との関係性について

総合計画と整合性を図り、第2期と同様、総合計画を補強・補完するものとして位置付けます。また、新たな総合計画では基本施策で個別の目標値は持たず、各個別計画にて管理していく中で、総合戦略は多くの基本施策に関係していくため、より関係性がわかりやすく見えるよう明確化にします。

第3期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(人口ビジョン・総合戦略)
【骨子案】

第1章 人口ビジョン

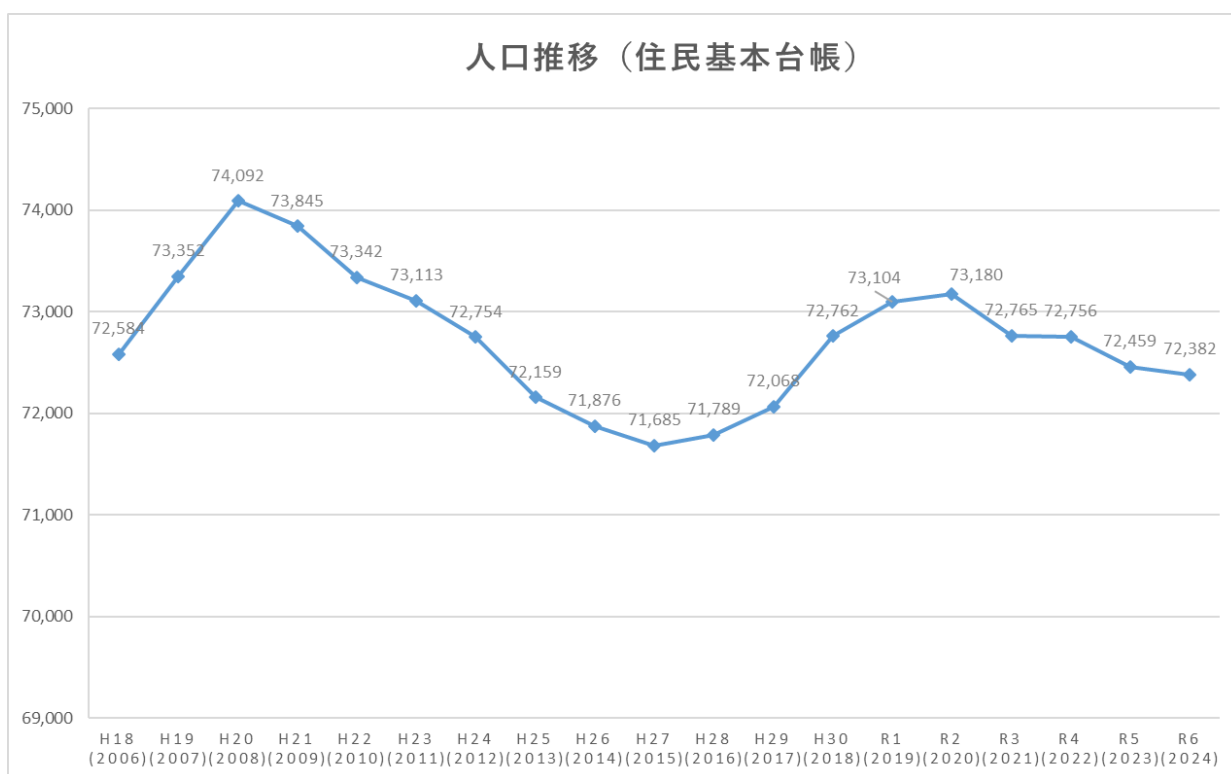
第1節 人口ビジョンの策定にあたって

人口ビジョンは、まち・ひと・しごと創生に向けた効果的な施策を作成するため、人口の現状を分析したうえで、目指すべき将来の方向性を示すために、将来の人口を展望したものです。

第2節 人口の現状分析

1 本市の人口の推移

近年における現在（令和6年）までの推移を住民基本台帳人口からみると、人口は平成20（2008）年に本市におけるピークをむかえ、その後は右肩下がりののち、平成28（2016）年からの景気回復を機に再び右肩上がりとなったが、現在ではまた右肩下がりとなっています。



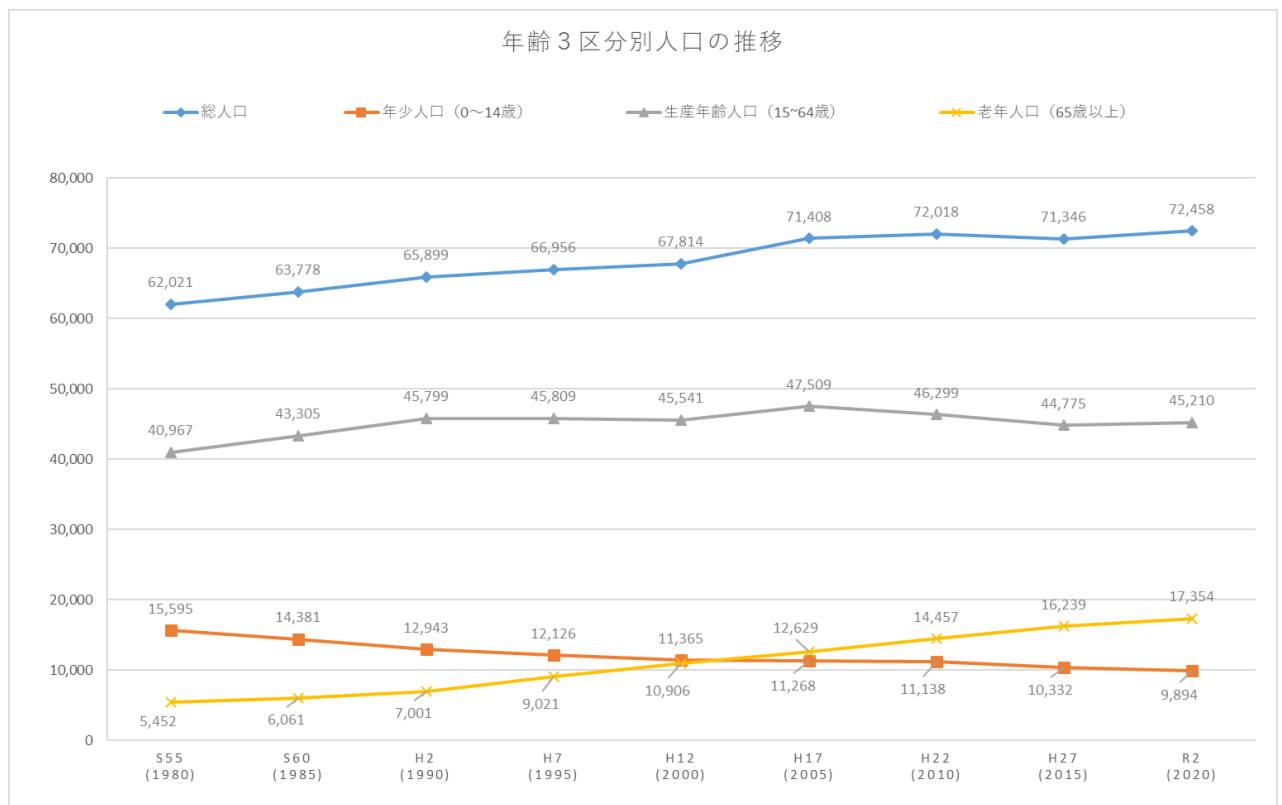
資料：碧南市の統計（住民基本台帳人口・各年3月31日現在）

2 総人口及び年齢3区分別人口、老年人口の推移

(1) 年齢3区分別人口の推移

年齢3区分別人口の推移をみると、生産年齢人口（15～64 歳）は、平成 17（2005）年の 47,509 人をピークに減少傾向に転じています。また、同年に減少傾向にあった年少人口（0～14 歳）11,268 人に対し、増加傾向にあった老年人口（65 歳以上）が 12,629 人と 1,361 人上回り、総人口に対する割合が逆転しました。

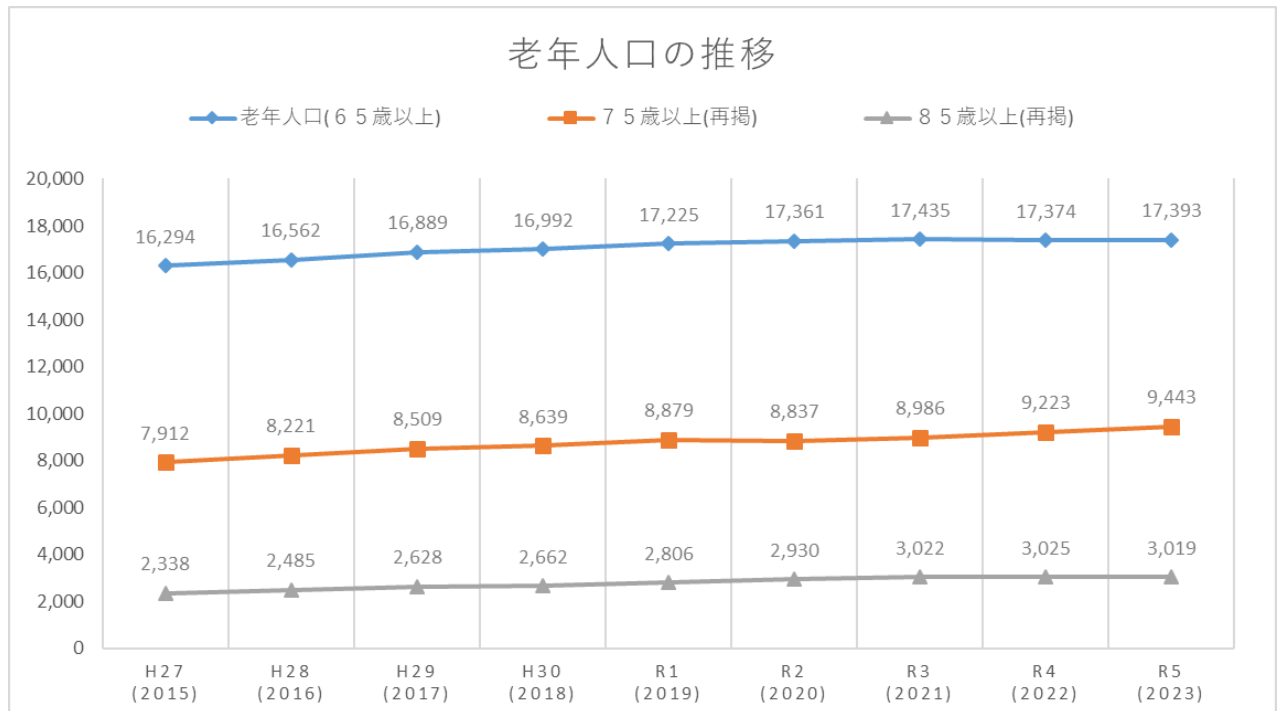
将来的にはこの傾向がますます進み、老年人口の割合が増加していくものと予想されます。



資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）※年齢不詳除く

(2) 老年人口の推移

老年人口（65歳以上）の増加に伴い、75歳以上・85歳以上ともに増加しています。
令和5年では75歳以上9,443人であり、老年人口全体でみると約半数の約54%を占めており、85歳以上は3,019人であり、老年人口全体の約17%となっています。

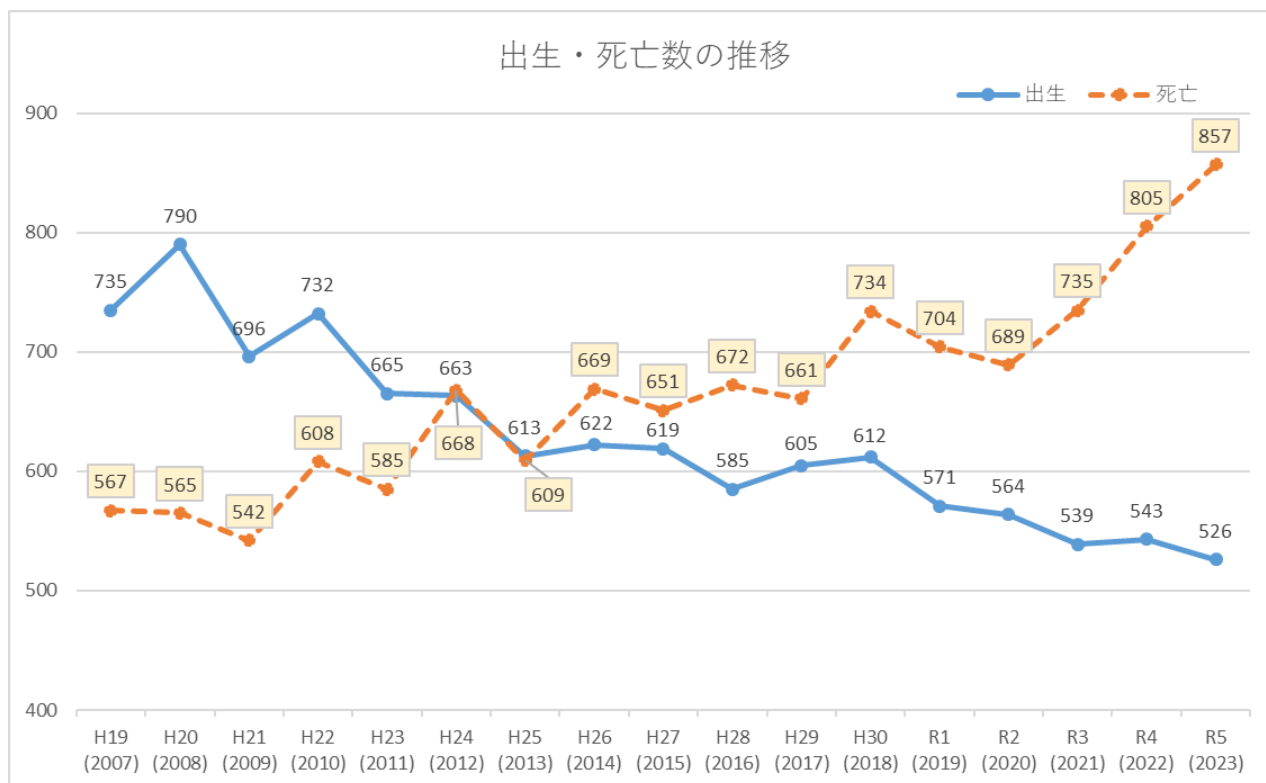


資料：住民基本台帳人口・各年3月31日現在

3 本市の自然増減の推移、合計特殊出生率の推移

(1) 出生・死亡者数の推移

出生・死亡者数をみると、出生数は平成 20（2008）年の 790 人をピークに減少傾向になっています。死亡者数については平成 26（2014）年から出生数を上回り、令和 3（2021）年から毎年ピーク数を更新しています。

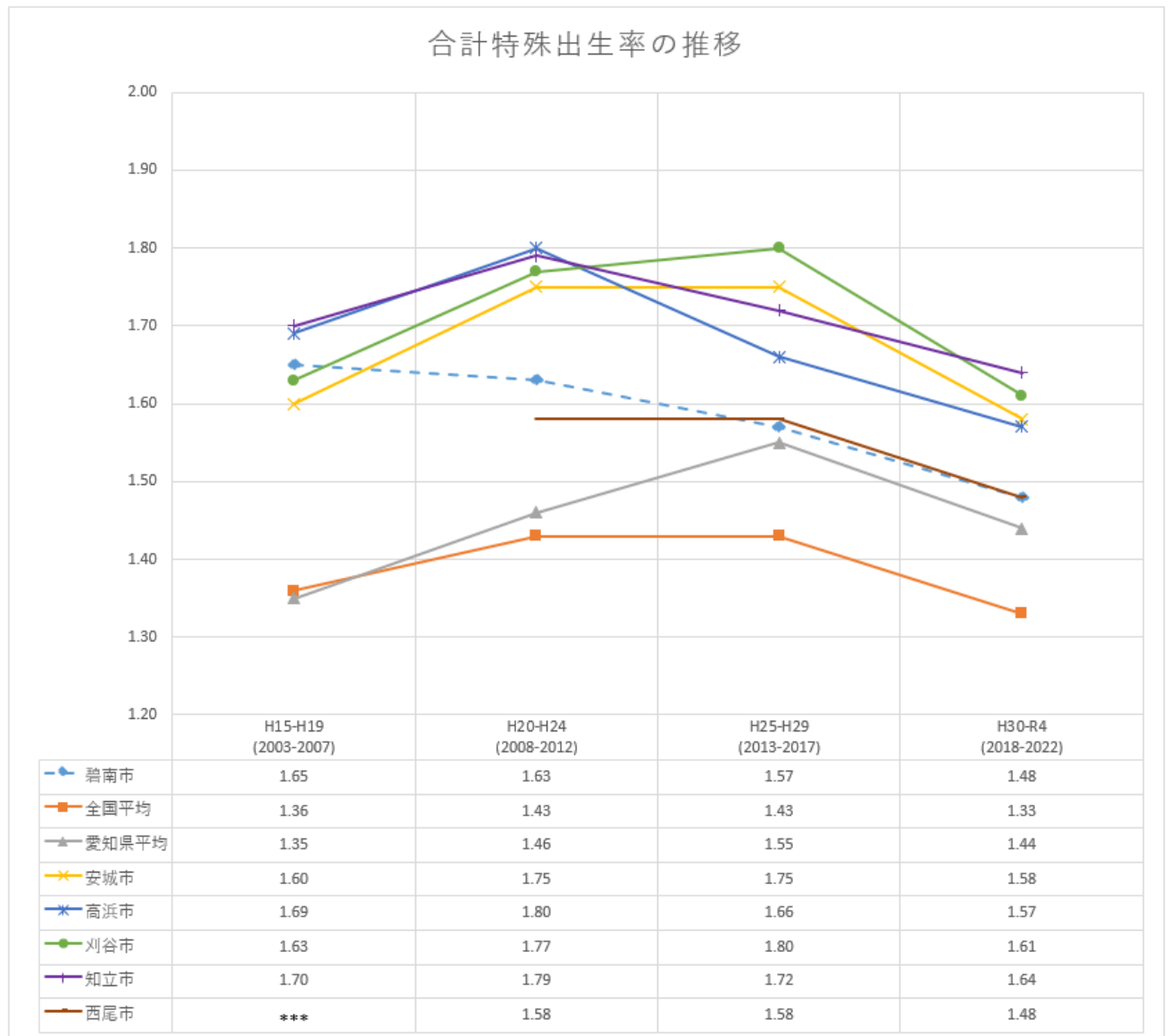


資料：碧南市の統計・2-3 住民登録による人口動向及び動態（外国人含む）

(2) 合計特殊出生率の推移

平成 15 年（2003）年から 5 年ごとの合計特殊出生率（1 人の女性が一生に産む子どもの平均数）は、平成 15（2003）年から平成 19（2007）年の 5 年間で 1.65 とピークとなり、その後は減少傾向で推移しています。

なお、本市を含む西三河地域の各市町の値は、全国平均に比べ高い値となっていますが、近年では本市と県平均はほぼ同じ値となっています。



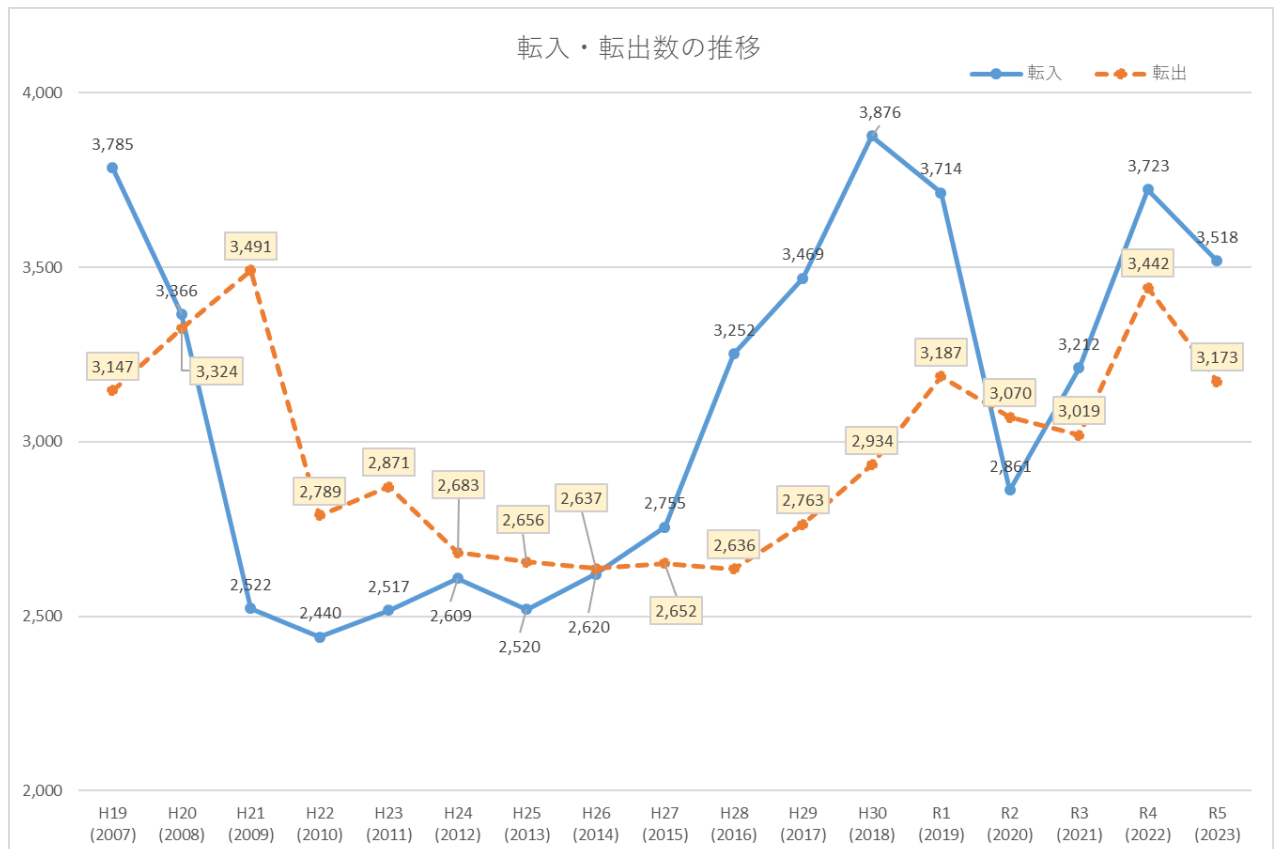
資料：H10-H24・地域経済分析システム（RESAS）

H25-R4・厚生労働省 平成 25～29 年及び平成 30 年～令和 4 年人口動態保健所・市区町村別統計 統計表 市区町村別合計特殊出生率・標準化死亡比

4 本市の社会増減の推移

(1) 転入・転出者数の推移

転入・転出者数の推移をみると、転入者数は平成 19（2007）年に一回ピークを迎え、その後減少傾向となるものの、平成 30（2018）年に過去最高の転入数となっています。令和 2（2020）年の新型コロナウイルスによる影響を除き、平成 27（2015）年からは転入超過（社会増）となっています。



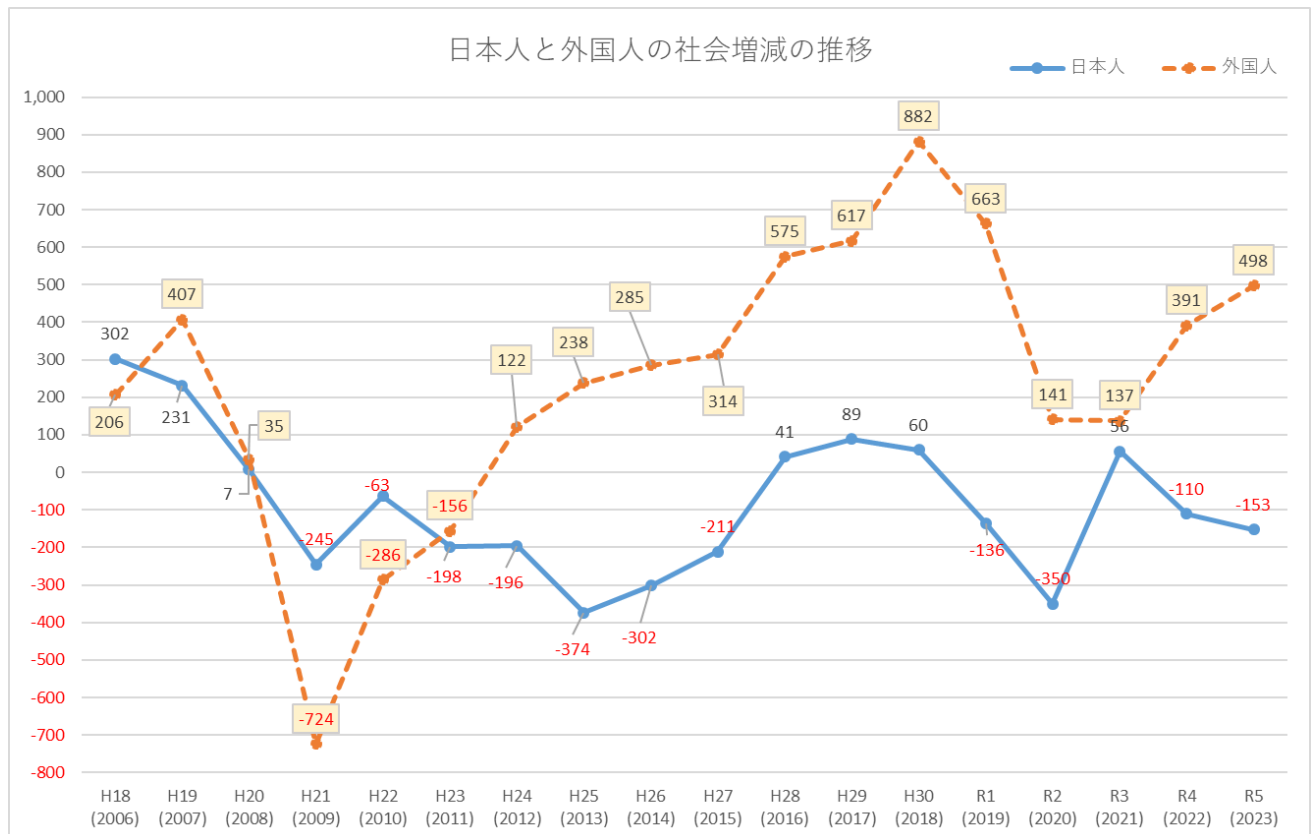
資料：碧南市の統計・2-3 住民登録による人口動向及び動態（外国人含む）

(2) 2022 年市町村別の社会増減の状況（素案策定までに作成）

(3) 本市の日本人と外国人の社会増減の推移

日本人と外国人の社会増減の内訳をみると、平成 20（2008）年秋のリーマンショックの影響により減少し、特に外国人の減少が顕著になっています。

平成 24（2012）年以降については経済情勢の回復もあり、外国人の増加傾向が続いていましたが、令和 2（2020）年の新型コロナウイルスの流行により減少しましたが、現在は再び増加傾向となっています。



資料：H18～H24・住民基本台帳人口（日本人）及び外国人登録人口（外国人）

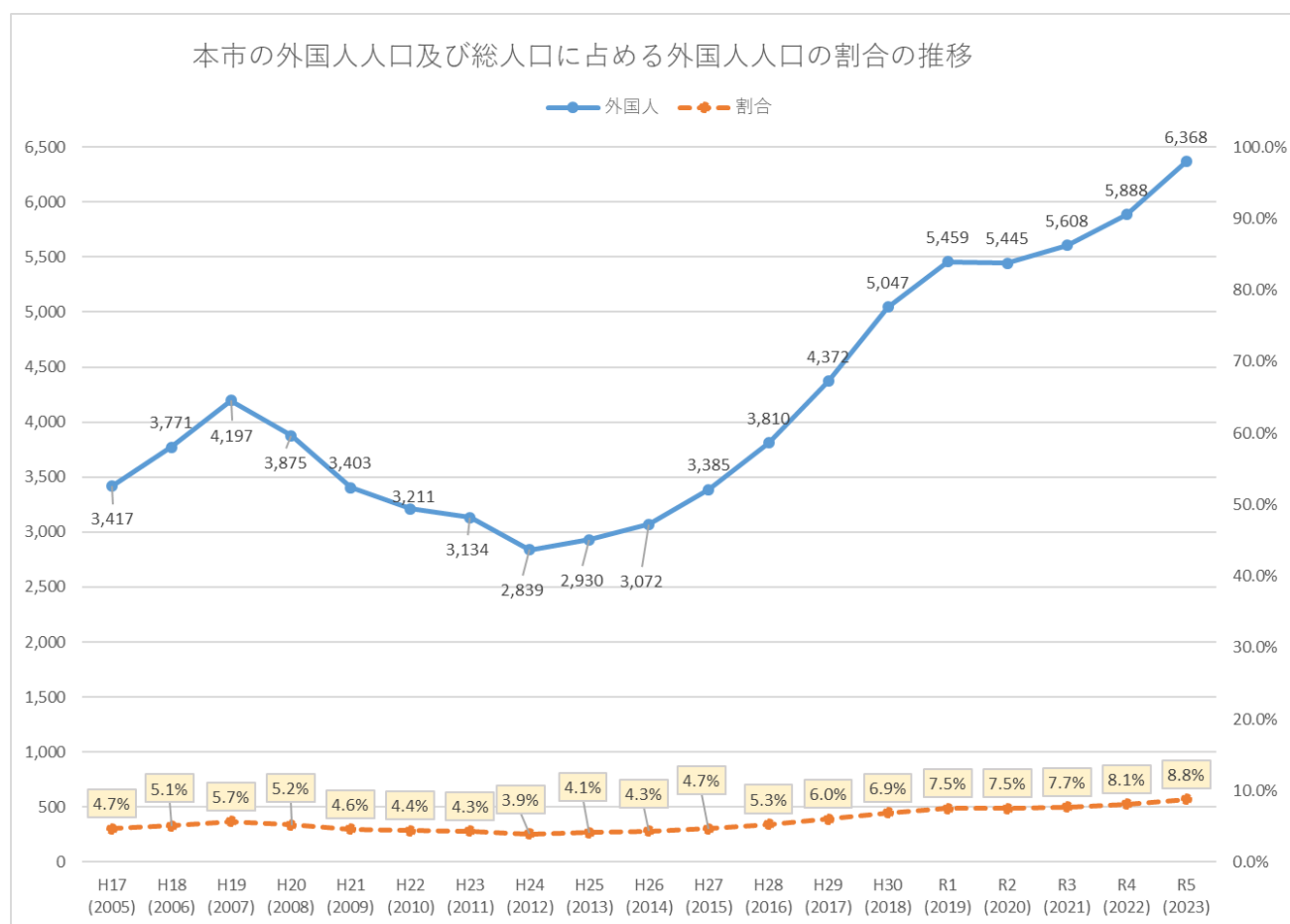
H25～R5・住民基本台帳人口（日本人、外国人とも）

5 本市の外国人人口の推移

(1) 本市の外国人人口及び総人口に占める外国人人口の割合の推移

外国人の人口をみると、平成 19 年のピークから減少傾向になり、再び平成 24（2012）年からは増加傾向にあり、平成 30（2018）年には 5,000 人を超え、令和 5（2023）年には過去最大の 6,368 人となっています。

総人口に占める外国人人口の割合も緩やかな増加傾向をみせており、近年では 8%を超えています。



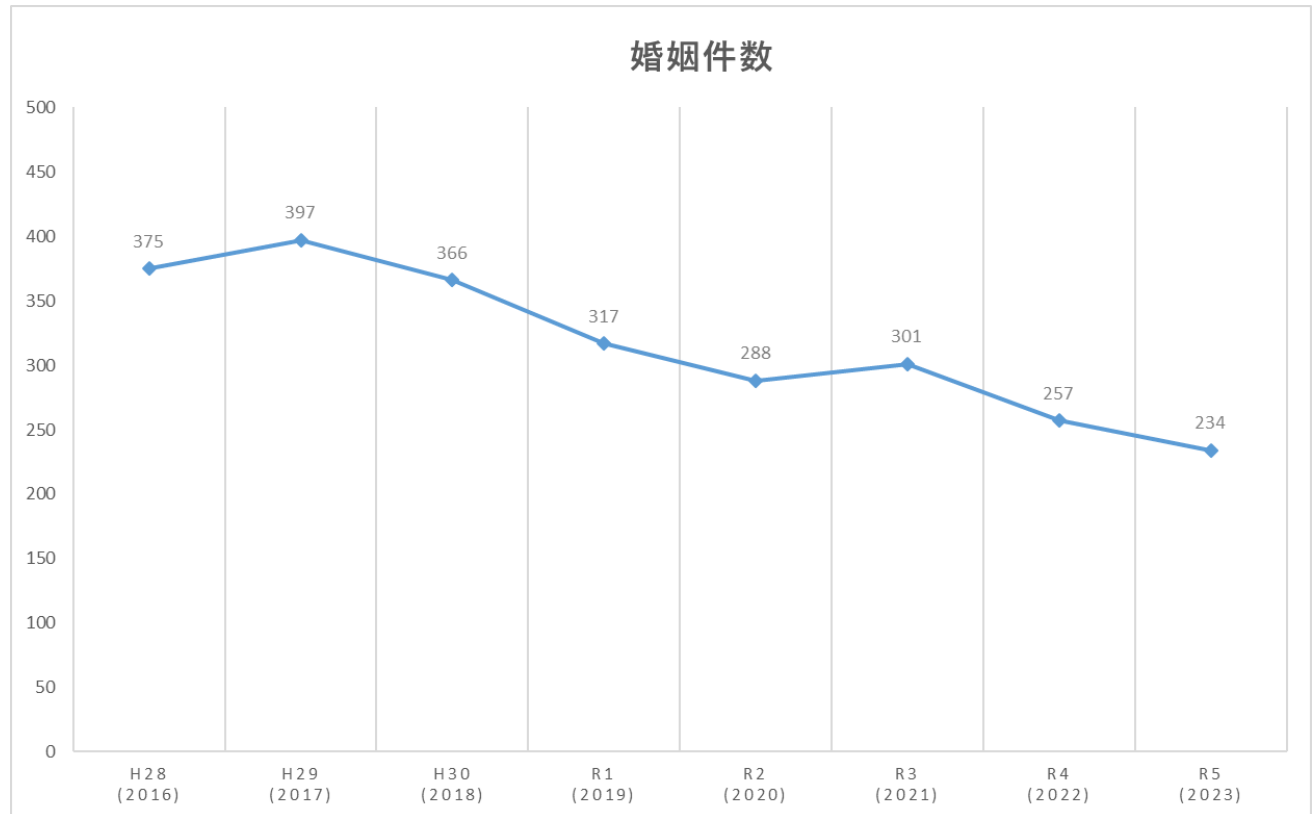
資料：H14-H24・外国人登録人口（外国人）

H25-R5・住民基本台帳人口（外国人）

(2) 本市の外国人の年齢 3 区分別人口の推移（素案策定までに作成）

6 本市の婚姻数の推移

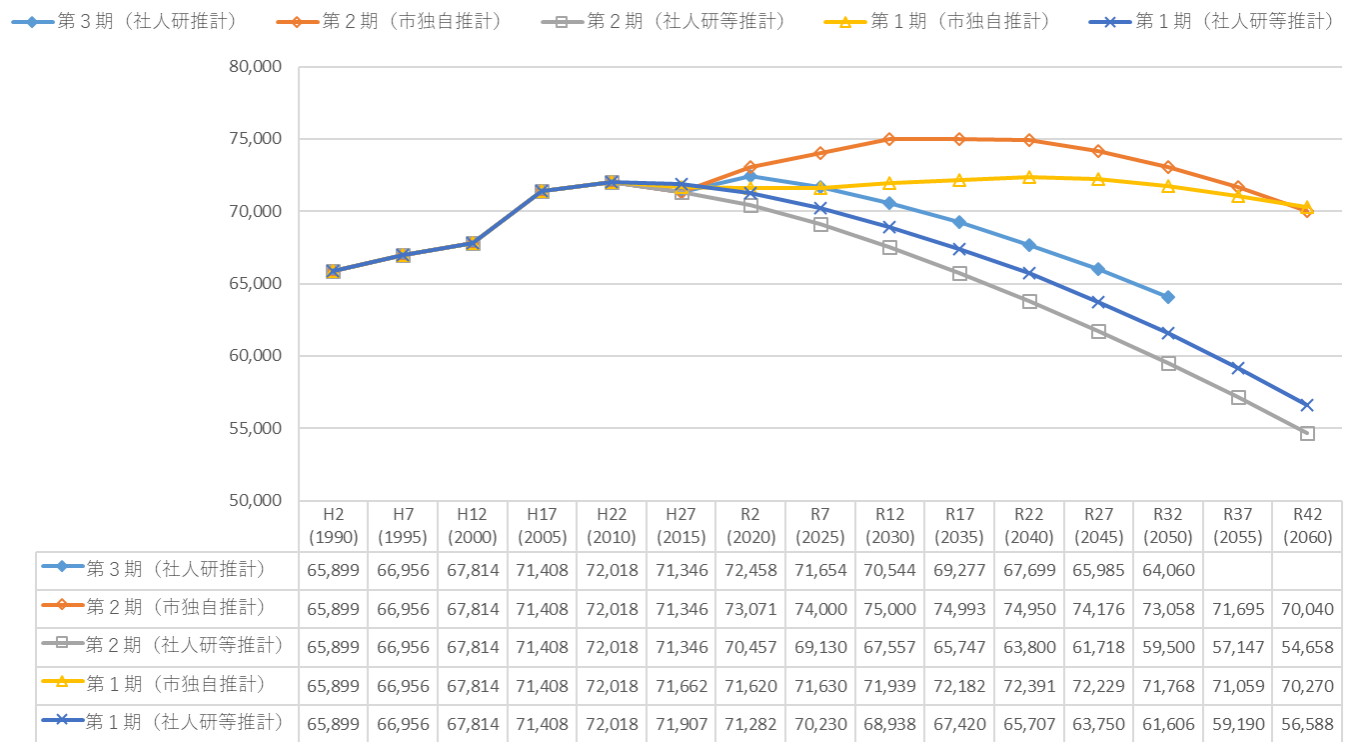
近年における現在（令和5年）までの推移をみると、婚姻件数は平成29（2017）年に本市におけるピークをむかえ、その後は右肩下がりとなっています。



参考

過去の人口ビジョン（１期・２期）・社人研（１期・２期・３期）

将来人口の推移



第3節 人口の将来目標と推移

1 人口の将来目標

令和 42（2060）年における人口を 70,000 人となるように設定

2 将来年齢3区分別人口の推移（素案策定までに作成）

第2章 総合戦略

第1節 策定にあたって

まち・ひと・しごと創生とは、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持するために、国民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進することです。

我が国における急速な少子高齢化の進展と地方の人口減少、東京圏への人口の過度の集中といった問題を背景に、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号。以下「法」という。）」が制定されました。

それにより、地方は国と一体となり、まち・ひと・しごと創生総合戦略を定め、推進するものとしています。国は、デジタル技術を地方の社会課題解決の鍵として「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、また、愛知県のまち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027では「人口減少にできる限り歯止めをかけ、人口減少下でも安心・快適に暮らせる社会の構築」を基本的な考え方としています。

当市においては、第2期に掲げた基本目標を維持しつつ、基本目標を達成するための鍵となる横断的な視点を重点に置き、次のとおりを定めることとします。

- ・ 基本目標1：稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする。
- ・ 基本目標2：地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる。
- ・ 基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- ・ 基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる。
- ・ 横断的な視点1：多様な人材の活躍を推進する。
- ・ 横断的な視点2：デジタルの力を活用し、社会課題を解決する。

第2節 総合計画との関係性

総合計画は、市の行政運営やまちづくりの指針を示し、市の総合的な振興・発展を目的として策定されているものです。

一方、総合戦略は、安定した雇用の創出や結婚・出産・子育て施策等による人口減少の克服や少子高齢化への的確な対応を目指して策定するものです。

このように、総合計画と総合戦略はそれぞれ目的や対象となる施策の範囲が必ずしも同

じではないことから、本市においては総合戦略と総合計画は別に定めます。ただし、その策定にあたっては、総合計画と整合性を図り、総合計画を補強・補完するものとして位置付けることとします。

また、総合計画を実現するための今後3か年の実施計画（以下「実施計画」という。）とも関連付け、事業の実効性を確保していくことから、実施計画、当初予算、そして、総合戦略の策定作業を互いに連携させることとします。

第3節 計画期間

第6次総合計画の計画期間に合わせ、令和7年度（2025年度）から令和12年度（2030年度）までの6年間を計画期間とします。

第4節 推進体制

（1）碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部（庁内組織）及び策定部会の設置

第3期総合戦略の策定と、それを踏まえた実施計画の策定及び予算編成を庁内で検討するため、市長をはじめ全幹部による「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部（以下、「推進本部」という。）」を設置し、第3期総合戦略を含めて今後の行財政運営方針を総括的に協議します。

また、その下部組織として、関係課長で構成する検討部会を設置し、具体的な推進方法等を検討します。

（2）碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の設置

内閣官房からの地方版人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定にあたっての留意点に係る通知（平成26年12月27日付閣副第979号）によれば、まち・ひと・しごと創生を実行する上では、住民、NPO、関係団体や民間事業者等の参加・協力が重要であることから、地方版総合戦略の策定にあたっては、例えば、住民代表や産業界・行政機関・大学・金融機関・労働団体等の「産・官・学・金・労・言」で構成する推進組織で審議するなど、広く関係者の意見が反映されるようにすることが重要としています。

本市においては、この「産・官・学・金・労・言」の専門的見地から意見を伺うとともに、子育てや女性の団体の代表、公募市民の方などから幅広い意見を反映するために、「碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議（以下「推進会議」という。）」を設置しています。

(3) 進行管理

地方版総合戦略の策定に関しては、地域課題に対する適切な短期・中期の政策目標を設定し、実施した施策・事業の効果を検証し、改善を図るPDCAサイクルを確立することが重要とされています。策定した総合戦略を着実に実施していくとともに、設定した数値目標等をもとに、実施した施策・事業の効果を推進本部及び推進会議において検証し、必要に応じて総合戦略を改訂します。

第5節 基本方針

本市の現状及び人口ビジョンを踏まえ、第3期総合戦略においては第2期総合戦略と同様の4つの基本目標を掲げつつ、これらを実現するための視点として「多様な人材の活躍を推進する」「デジタルの力を活用し、社会課題を解決する」を取り入れ、具体的施策に取り組んでいきます。

基本目標1：しごとづくり

横断的な視点：人材活躍、デジタル活用

- ①企業防災力の強化…産業の安全確保
- ③安定した水道水の供給…需要に応じて整備する水道事業（PIを想定）
- ⑤カーボンニュートラルの促進…次世代エネルギーの利活用
- ⑬主要幹線道路の整備、港湾の整備…産業基盤の強化
- ⑮農業の振興、水産業の振興…碧南ブランド力の向上、農業・水産業の振興
- ⑯工業用地の確保、中小企業の振興、地場産業の育成…企業誘致・留致、販路拡大、中小企業の振興
- ⑰地域商業の振興…商店街の振興、デジタル技術の活用（キャッシュレス化）

基本目標2：新しい人の流れづくり

横断的な視点：人材活躍、デジタル活用

- ④水と緑とふれあえる場の創出…レクリエーション、交流の場としての活用
- ⑧スポーツに触れる機会の拡充…魅力あるスポーツ事業の展開、スポーツによる地域活性化
- ⑨施設の特徴を活かした運営…魅力ある芸術・文化事業の展開
- ⑬主要幹線道路の整備…交通の利便性の向上
- ⑰魅力ある観光地づくりの展開…観光の強化、情報発信の強化、観光DXの推進
- ⑱広報・広聴…情報発信の強化

基本目標 3：結婚・出産・子育て環境づくり

横断的な視点：人材活躍、デジタル活用

- ②交通安全施設の整備…安全な道路の整備
- ④多様な主体による緑の管理…公園・街路の美化
- ⑥安心して子育てできる保育環境の整備、子どもの居場所づくり、切れ目のない支援体制の確立…就学前の子育て環境の充実
- ⑦教育内容や環境の充実、支援の必要な児童生徒への支援の充実、教員研修の充実…学校教育の充実
- ⑨教育普及の充実…学校以外での教育の充実
- ⑪障害者福祉の充実…発達支援環境の充実（ICF）
- ⑭住宅地の整備、駅周辺の整備…移住定住の促進
- ⑯ものづくりを担う次世代の育成…発明クラブの充実
- ⑲外国人との共生のための環境整備…外国人との共生（教育の充実など）、ICT を活用した行政サービスの提供

基本目標 4：元気あふれる地域づくり

横断的な視点：人材活躍、デジタル活用

- ①地域防災力の強化…自主防災会・消防団の活躍
- ②地域の防犯力の向上…自主防犯団体の活躍
- ④多様な主体による緑の管理…公園愛護会・花いっぱい運動推進団体の活躍
- ⑧生涯学習の推進体制の充実…HEXPO STAFF・子ども会・青少年育成推進員の活躍
- ⑧スポーツ推進体制の強化…安定的かつ継続的にスポーツができる環境の整備
- ⑨自主運営事業の充実…芸術・文化による地域活性化
- ⑩生活習慣病の予防とライフステージに合わせた健康づくり…健康寿命の延伸
- ⑩地域全体で進める健康づくり…健康を守る会・健康推進員の活躍
- ⑪高齢者の生きがいづくり…シルバー人材センター・老人クラブの活躍、デジタルデバイドを解決する ICT 支援
- ⑫地域介護力の向上…地域包括支援ネットワークの充実
- ⑰公共交通機関の利便性の向上…公共交通の充実
- ⑱ふるさと応援寄附金制度の推進…地域創生

- ⑱地域コミュニティの活性化、地域コミュニティと個人・企業などの連携…町内会など地域コミュニティの活躍
- ⑳ICT の活用・電子行政の推進…市役所窓口のデジタル化

第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けたスケジュールについて

日程	会議名等	内容
7月23日（火）	第1回推進本部	(1) 第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況報告 (2) 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性及び骨子案について
8月1日（木）	第1回推進会議	(1) 第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況報告 (2) 第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性及び骨子案について (3) 意見交換
8～10月	庁内調整	・関係各課へ具体的な施策・指標等の作成の作業依頼
11月	第2回推進本部	第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の協議
	第2回推進会議	第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の意見交換
1月	市議会協議会	第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）
2月	パブリックコメント	パブリックコメントの実施 （2／1号広報記事掲載）
3月	第3回推進本部	パブリックコメントの報告、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の最終協議
	第3回推進会議	パブリックコメントの報告、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）の最終協議
	公表	第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の公表